



JA
広報

そらちみなみ

11
月号

2010 Vol. 22



10月22日 由仁地区岩内・（有）長嶋農産圃場

主な内容

- 大豆収穫・調製開始
- 農協法公布記念日にあたって
- 戸別所得補償制度について
- 女性部意見交換会開催
- さっぽろオータムフェストで花のPR
- 飼料用トウモロコシの収穫
- 栗山マルシェ開催
- 各種青年部活動
- 各地区の作業風景

...etc

～大豆収穫・調製開始～

10月上旬から栗山・由仁両地区で大豆の収穫作業が始まりました。

成熟が早まったため、例年より10日ほど早く収穫作業を始めた方がいた一方、10月中旬の降雨のため水分が低下せず、収穫作業を一時中断した方や逆に収穫の開始が昨年より遅れてしまった方も多く、施設での調製開始時期は例年並みとなりました。

農協法公布記念日にあたって



北海道農業協同組合中央会

会長 飛田 稔章

昭和22年11月19日に農業協同組合法(農協法)が制定され63年目を迎えました。制定当時は戦争の傷跡が生々しく、日本全土が荒廃する中で、国民の食料は不足し、食料確保の必要性と併せて農民の自主的立場を確立するために農村の民主化が最重要課題でありました。

このような時代背景の中から農協法が施行され、全国各地で農協が設立され、現在に至っております。

農協は農地改革によって生まれた自作農を基本とした「農民の農民による農民のための」組織として、人々が連帯し助け合うことを意味する「相互扶助」の精神のもとに組合員の農業経営と生活を守り、より良い地域社会を築くことを目的とした協同組織です。

農協法が制定されて以来、経済情勢や社会環境の変化に合わせてJAの事業展開や組織運営手法の変革が求められ、時代に即した法改正によって、組合員の社会・経済的地位の向上に大きな役割を果たして参りました。

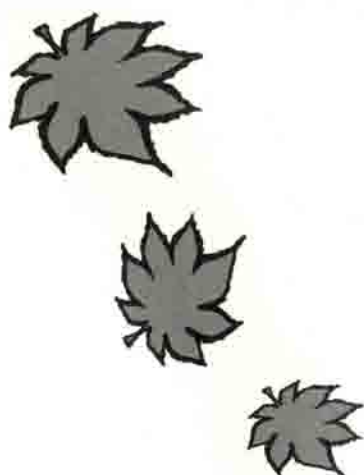
今、私たちは21世紀の初頭を歩んでいますが、世界に目を向けますと金融危機、食料需給のひっ迫、地球温暖化・環境問題等が一層深刻化し、いまだに解決の糸口を見いだせない状況にあります。

国内的には市場原理の名のもとに行き過ぎた競争社会のひずみが格差社会を生み、年金問題などと相まって、国民の中に不安が増大しています。このような時代に自主・自立・相互扶助精神に基づき共生の社会をめざす協同組合組織に対する期

待はますます大きくなっています。

私たちは平成21年、「第26回JA北海道大会」を開催し、共同の力で築く「あすの食をささえる北海道農業」をテーマに、組合員に基軸を置き、北海道農業・JAが抱えるさまざまな課題の打開と地域と消費者に対して果たすべき役割を踏まえ、『北海道農業の潜在能力のフル発揮への挑戦』と『協同と信頼の絆で築く新時代のJA』に関する決議を確認いたしました。

今後ともWTO農業交渉はじめEPA・FTA、景気低迷等厳しい情勢が予測されますが、組合員、役職員皆様が農協法の目的と意義を再確認して、JAが地域農業・農村振興の司令塔としての役割を発揮し、充実した組織として益々発展するよう共に頑張りましょう。



作柄は平年並み

大豆調製施設稼働



由仁地区豆類調製施設



栗山地区大豆共同調製施設

10月22日、由仁地区の豆類調製施設で平成22年産大豆の受入調製が始まりました。

今年も小粒大豆ユキシズカからスタートし、スズマル、大粒大豆トヨムスメ、ユキホマレの順に調製が行われる予定となっており、フレコンに入れられた大豆がホッパーから調製ラインを通り、製品となつて60kgのpp袋に詰められました。

一方、栗山地区では10月27日から大豆共同調製施設が稼働を開始し、こちらも昨年と同様に種子大豆から一般大豆の順に調製が行われる予定です。

両地区とも12月下旬まで施設での調製作業が続きます。

平成22年度米穀受入状況

10月25日現在

品 種	出荷契約数量	出荷実績	うち高品位	出荷率	高品位率
きらら397	131,897俵	103,320.0俵	1,631.5俵	78.3%	1.6%
ななつぼし	83,482俵	48,331.5俵	5,030.0俵	57.9%	10.4%
おほろづき	19,808俵	9,272.5俵	—	46.8%	—
ゆめぴりか	19,357俵	12,404.5俵	2,017.5俵	64.1%	16.3%
ほしのゆめ	10,187俵	6,432.5俵	274.5俵	63.1%	4.3%
その 他	3,033俵	2,803.0俵	—	92.4%	—

女性部に若い力を

女性部意見交換会開催

10月22日、JAそらち南女性部意見交換会がJA本所1階第3会議室で行われました。参加した皆さんの自己紹介、女性部による農産加工の取り組み報告の後に意見交換が行われ、鈴木女性部長をはじめ数名から「若い人達に女性部に参加してもらうためにはどうすればよいか」、「JAとして女性部の高齢化をどう捉えているのか」、「女性部からの呼びかけだけで現代の若い人は集まらないのでJAとの連携が不可欠」、といった意見・質問が出され、大友組合長や中島専務、佐々木常務も自身の見解を述べるなど、活発な意見交換会となりました。



意見を述べる鈴木女性部長
(右から2人目)

収穫の秋到来を実感

秋の収穫祭開催



大賑わいの会場の様子

10月22・23日、子会社㈱メリーワークが「JAそらち南農産物秋の収穫祭」をJA由仁支所駐車場で実施しました。地場産の農産物を中心に大根、白菜、キャベツ、馬鈴しょ、かぼちゃなど数多くの野菜や果物、新米などが販売され、訪れた大勢のお客様は収穫された新鮮な農産物を目の前にし、うれしそうに買い物をする光景がみられました。

特に、大根や白菜、新米は大人気で、袋を両手一杯に持って買い求める方が非常に多く、用意した農産物は売り切れが続出し、収穫祭は大盛況のうちに幕を閉じました。

各部職員からも応援

米穀施設・倉庫最盛期

平成22年産米出荷に伴う施設支援が9月10日、倉庫支援が9月14日より始まりました。

今年も栗山地区富士の米麦乾燥調製施設、由仁営農センターの米賣館では職員が玉掛け、フレコン・30kg紙袋への玄米の詰め込み等様々な作業を行いました。

また、栗山地区の中央倉庫と継立倉庫、由仁地区の三川倉庫では職員が30kgの紙袋で出荷された玄米をシートパレットの上にはい積みする作業を行い、次々と運搬される玄米を相手に懸命に汗を流しました。



応援職員によるはい積みの様子

大型イベントでPR

南空知花き生産組合が参加



多くの観光客で賑わった販売会場

9月26日、「さっぽろオータムフェスタ2010」大通り4丁目会場において、南空知花き生産組合による産直イベントが行われました。

この日のために用意したバラ、トルコキキョウ、リンドウ、菊の花を展示・販売して、会場を訪れた大勢の皆さんにJAそらち南産の高品質な花きを大いにPRしました。

この産直イベントのために足を運んでくださった方も多く、これまで札幌市で行ってきた様々なPR活動のおかげで、確実にJAそらち南産花きの知名度が上昇しているようです。

大型農業施設に驚き

介護学生のJA施設見学

10月15・22日、北海道介護福祉学校の皆さんが栗山地区富士で当JAの各施設を見学しました。

参加された皆さんは米麦乾燥調製施設、玉ねぎ選別施設、馬鈴しょ集出荷貯蔵センター、長葱集出荷貯蔵施設の順で見学し、それぞれ担当者から施設の概要などの説明を聞き、疑問点を質問していました。

畑で収穫された農産物が食料品スーパーなどの店頭で並べられるまでに、どのように加工・選別されているのかを実際に目の当たりにして、参加者の皆さんはとても感心しているようでした。



メモを取りながら熱心に説明を聞く皆さん

各方面からも大注目

飼料用トウモロコシ収穫



大掛かりな収穫の様子

10月21日、鉦き込みによる地力増進と子実の増進を目的とした飼料用トウモロコシの収穫が行われました。

2名の生産者の方々の指導のもと、大勢の皆さんが見守る中、専用のピッキンヘッダを前面に取り付けたコンバインが圃場内を走行して飼料用トウモロコシを収穫しました。

子実をトラックの荷台に勢いよく移動し、見学した人の中には、農業関係者は勿論のこと、生産者の方でも何人かあり、この試験栽培への関心の高さが伺えました。

11月には栗山地区1名、由仁地区1名の生産者の方の圃場でも収穫が行われます。

青年部による屑米集荷



コンベアから屑米を積む様子

青年部による由仁地区の屑米集荷が今年は9月26日から行われました。毎週日曜日、三川出張所横の倉庫に生産者の皆さんが運搬した60kgの屑米を、青年部員の皆さんが、品種・数量等を確認してハイ積みしていきましました。今年も組合員皆様のご協力によって、10月24日時点で一千俵近くの屑米を集荷することができました。来年以降もより一層のご協力をお願い申し上げます。



盛んな青年部活動

青年部の食育活動

10月12日、青年部三川支部の皆さんが食育の一環として、学校敷地内に栽培された大豆の収穫を6年生の児童の皆さんと一緒にを行いました。青年部員の皆さんの指導の下、児童達は収穫適期を迎えた大豆を手で抜き取って鞘の中から豆を1個ずつ取り出していきましました。収穫された大豆は乾燥された後、11月に予定されている豆腐作りに使われることとなっており、青年部員の皆さんは女性部の方たちと一緒に児童の指導に当たることになっています。



大豆収穫の様子

青年部南部スポーツ大会



次回の更なる健闘を誓い記念撮影

10月17日、空知農協青年部南部ブロック親睦スポーツ大会が岩見沢市スポーツセンターで開催され、今年も南空知8J Aの青年部員の皆さんが集結しました。当J A青年部からも青年部員とJ A職員からなる2チームが参加してミニバレーで熱戦を繰り広げた結果、共に予選リーグを突破したものの、決勝トーナメントの1回戦で惜しくも敗れてしまつ結果となりました。大会終了後には懇親会も開かれ、他J Aの青年部員の皆さんとも交流を深めることができました。

非常事態を想定して

J A各事業所で消防避難訓練

10月中旬から下旬にかけて、JA本所や支所、出張所において消防避難訓練が今年も実施されました。出火が起こってしまったと想定し、消防署への通報、建物の中にいる人達全員への連絡、建物外部の安全な場所への避難、そして最後に水を入れた消火器での消火訓練などを通して職員も防災への意識を高めました。



10月15日 継立出張所



10月13日 本所



10月26日 由仁営農センター



10月26日 由仁支所

営業時間変更のお知らせ

11月より生産資材部および給油所の営業時間が下記の通りとなっております。ご理解・ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

また、栗山町内2か所の直売所も11月で今年度の営業を終了する予定となっておりますので、重ねてご案内申し上げます。

営業時間	平 日	土日祝祭日
生産資材部 営農センター	8:30~16:00	休み
給 油 所	7:30~20:00	7:30~20:00

地区別営農懇談会のお知らせ

平成22年度農協地区別懇談会を11月29日~12月2日に実施いたします。

各地区の日程等の詳細につきましては、後日FAXでご案内させていただきますので、ご確認の程お願い申し上げます。

組合員の皆様におかれましては年末に向け何かと忙しい時期とは存じますが、万障お繰り合わせの上ご出席下さいますよう、お願い申し上げます。

戸別補償制度について

3. 畑作物の戸別所得補償交付金(旧水田畑作経営所得安定対策)

対象作物	畑作の麦、大豆、てん菜、でん粉原料用ばれいしょ
畑作物の戸別補償交付金とは ①対象作物の生産数量目標に従って生産(耕作)を行った「販売農家」と「集落営農」に対して、全国一律単価で交付金を交付 ②一定の要件を満たす生産者には営農継続支払(面積払)を交付[当年7月～8月頃] ③販売数量が明らかになった段階で、数量払の交付額を確定して営農継続支払との差額を追加支払い[当年11月～翌年3月頃]	
☆販売農家については、共済加入者又は販売実績がある者 ※営農継続支払を申請しない生産者は、販売数量確定後に数量払の単価を乗じて算定した交付金を交付。 ※支払時期は現時点での見込みです。	
☆戸別所得補償制度のポイント ①過去の生産実績ではなく当年の生産実績に基づく支払いとなります。(カラゲタ問題の解消) 過去実績に関係なく、その年の生産量に対し交付金が支払われます。誰でも小麦・大豆・てん菜等を作付でき、規模拡大した場合でもその面積(生産量)に対し交付金を受けられます。 ②市町村別単価がなくなります。 これまで、市町村別の単価が設定されていましたが、面積払単価が一律2万円/10aとなり、地域間による格差が解消されます。(実質的には数量払のケースが想定されます。) ③品質向上の努力が報われる制度です。 実質的に全量が数量払となり、品質向上や生産性向上など努力すれば、手取りが上昇します。	
集落営農の法人化加算	食料自給率向上に向けた生産基盤の確保、地域農業の持続的な発展のためには、将来に向けて持続性のある経営体へと育成していくことが必要
交付単価	法人化した際に、対象作物の作付面積に2,000円/10aを加算(1年限り)
緑肥輪作加算について	輪作作物の間に1年休んで緑肥(休閒緑肥)を導入する場合に加算を行うことにより、畑作経営の安定と地力の向上を図り、持続可能な輪作を推進する。
交付単価	休閒緑肥の導入に必要な、種子代やすき込み等の栽培コストの補てん 1万円/10a

※H23年度より水田・畑作経営所得安定対策<品目横断の緑ゲタ(固定払)・黄ゲタ(成績払)>が廃止されます。

担当部署 : JAそらち南 営農部 農業振興課
TEL 72-1408

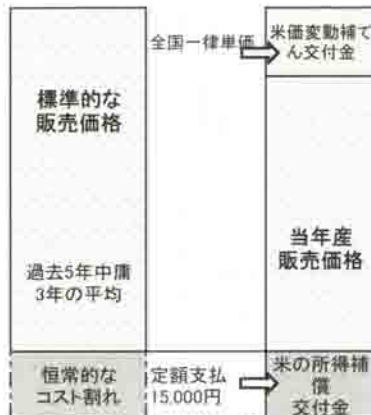
平成23年度農業者

1. 米の戸別所得補償交付金

主食用米水稻の面積払(定額) 15,000円/10aを全国一律に交付

交付対象者	米の生産数量目標(面積換算値)に従って生産を行っている販売農家・集落営農(水稻共済加入者)
交付対象面積	主食用米の作付面積から自家消費米相当分として一律10a控除して算定(種子、醸造用玄米は10a控除の対象外)
交付金 支払時期	定額分は当年11月～翌年1月頃
価格変動に関しては「米価変動補てん交付金」として引き続き措置	
補てん金 交付単価	①当年産の販売価格が標準的な販売価格を下回った場合に、その差額を基に算定(10a当たり単価) ※標準的な販売価格は、全国平均の相対取引価格の過去5年(H18～H22)中最高最低を除いた3年平均から流通経費等除いたものとする。 算定に全国平均の相対的取引価格を使用
交付金 支払時期	当年産の販売価格は出回りから3月までの平均価格を使用するとともに翌年度5月～6月頃に支払う。

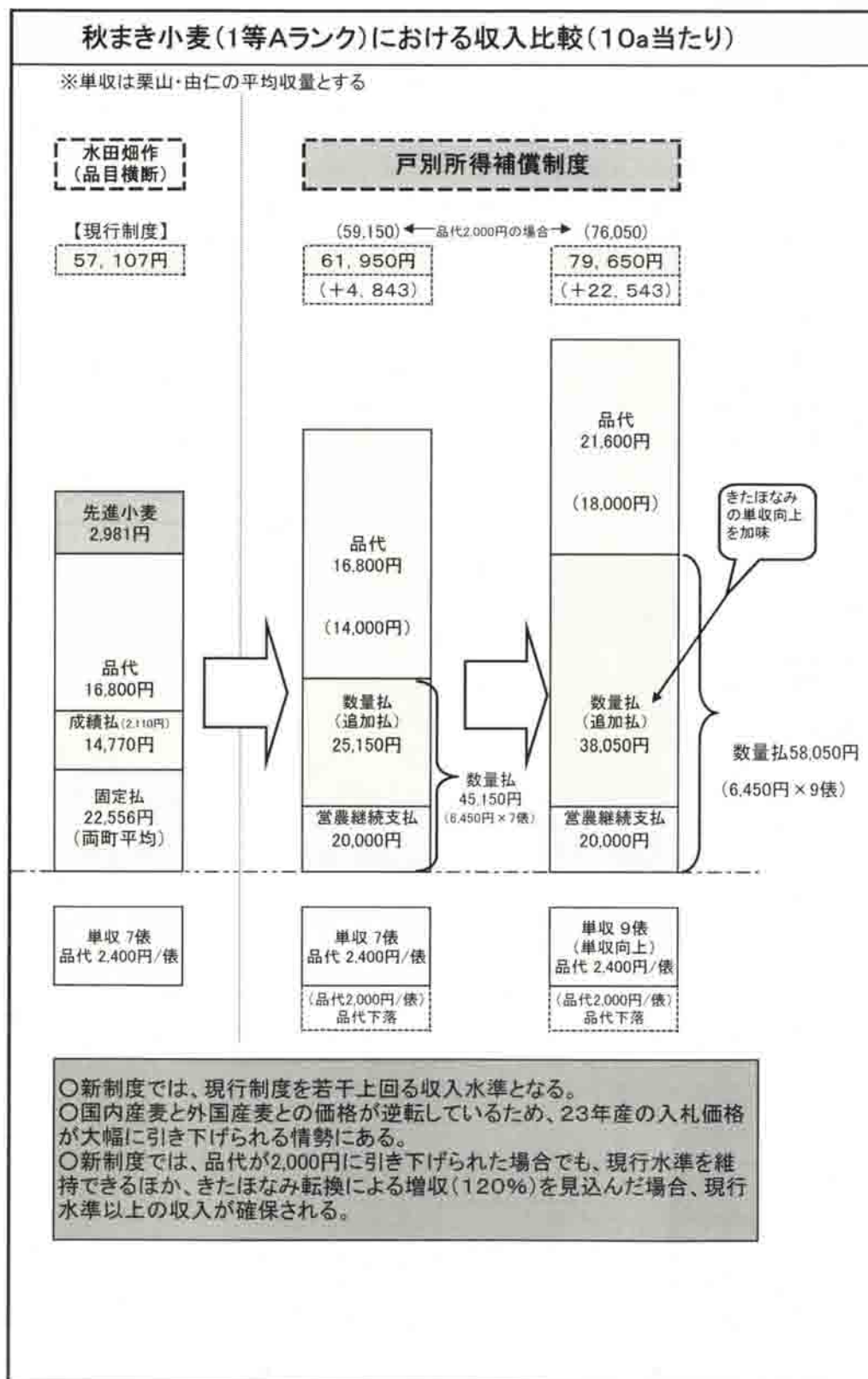
表1



2. 水田活用の所得補償交付金(転作)

対象作物	水田作の麦、大豆、飼料作物、米粉用・飼料用米、WCS用稲、そば、なたね、加工用米		
交付対象者	販売目的で対象作物を生産(耕作)する「販売農家」及び「集落営農」		
交付金 支払時期	当年8月～翌年1月頃		
交付単価	麦、大豆、飼料作物	35,000円/10a	
	米粉用、飼料用米、WCS用稲	80,000円/10a	
	そば、なたね、加工用米	20,000円/10a	
	耕畜連携事業	13,000円/10a	①飼料用米生産水田の稲わらの飼料利用 ②粗飼料生産水田での放牧 ③粗飼料生産水田へのたい肥散布
産地資金 の創設	現行の激変緩和調整枠(22年度:260億円)を発展的に解消するとともに、その他作物への助成(1万円/10a、22年度:204億円)と一本化し、地域特産物の振興、戦略作物の生産性向上に向けた取組などを支援する(資金予算枠430億円程度) 詳細未定(現在、北海道一律(作物別)の単価にするか、市町村単位での作物単価にするか国で検討中)		

所得補償制度（小麦試算）



平成23年度農業者戸別

小麦

畑作物戸別所得補償制度支払い方法イメージ(小麦)

(例) 秋小麦(1等Aランク)の収量が7俵/10aとすると、

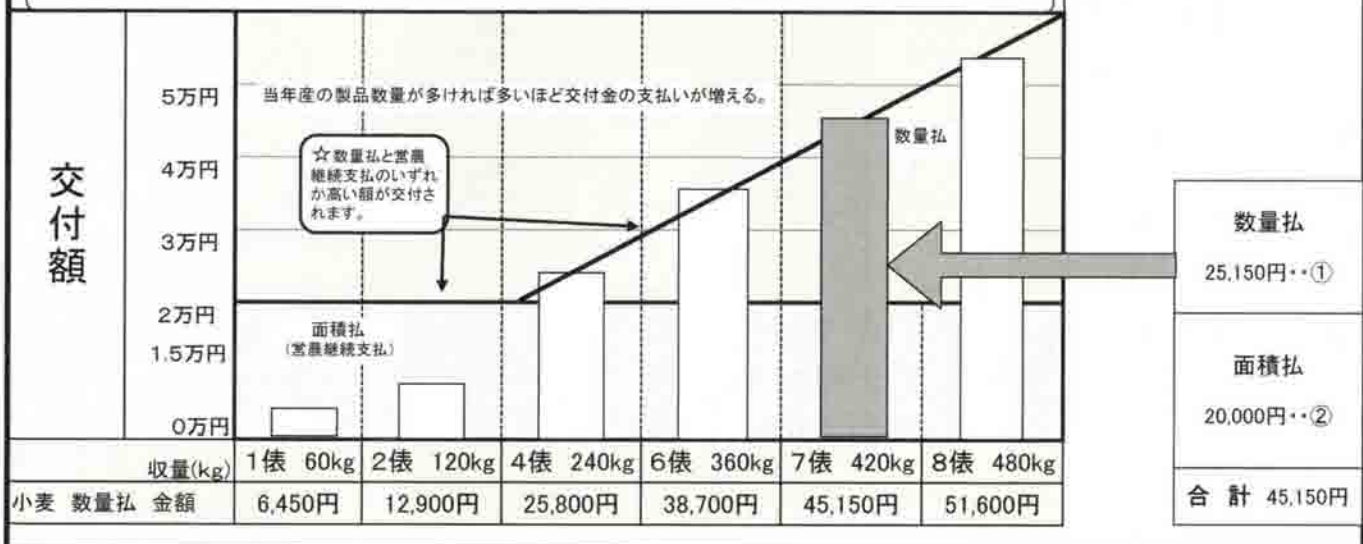
数量払: $7\text{俵} \times 6,450\text{円} = 45,150\text{円} - 20,000\text{円(面積払相殺分)} = 25,150\text{円} \cdots \textcircled{1}$

面積払: 20,000円 $\cdots \textcircled{2}$

金額合計: $\textcircled{1}25,150\text{円} + \textcircled{2}20,000\text{円} = 45,150\text{円}$

☆数量払と営農継続支払のいずれか高い額が交付されます。

※数量払の単価が60kg当たり6,450円とした場合、10a当たりの収量が186kg以下なら交付は面積払だけになる。



1. 数量払 <「当年産の出荷・販売数量」×「交付単価」>で交付額を算定する仕組み>

①品質加算を含めた数量払の交付単価

【小麦】

①タンパク質含有率等が一定の範囲内にあることが求められるため、これらを反映した検査成績ごとに加算。

②新たな需要開拓に向けて、収益性の劣るパン・中華めん用品種に一定の加算。(円/60kg)

品質区分	1等				2等			
	A	B	C	D	A	B	C	D
小麦	6,450	5,950	5,800	5,740	5,290	4,790	4,640	4,580

☆パン・中華めん用品種については、上記の単価に2,550円/60kgを加算

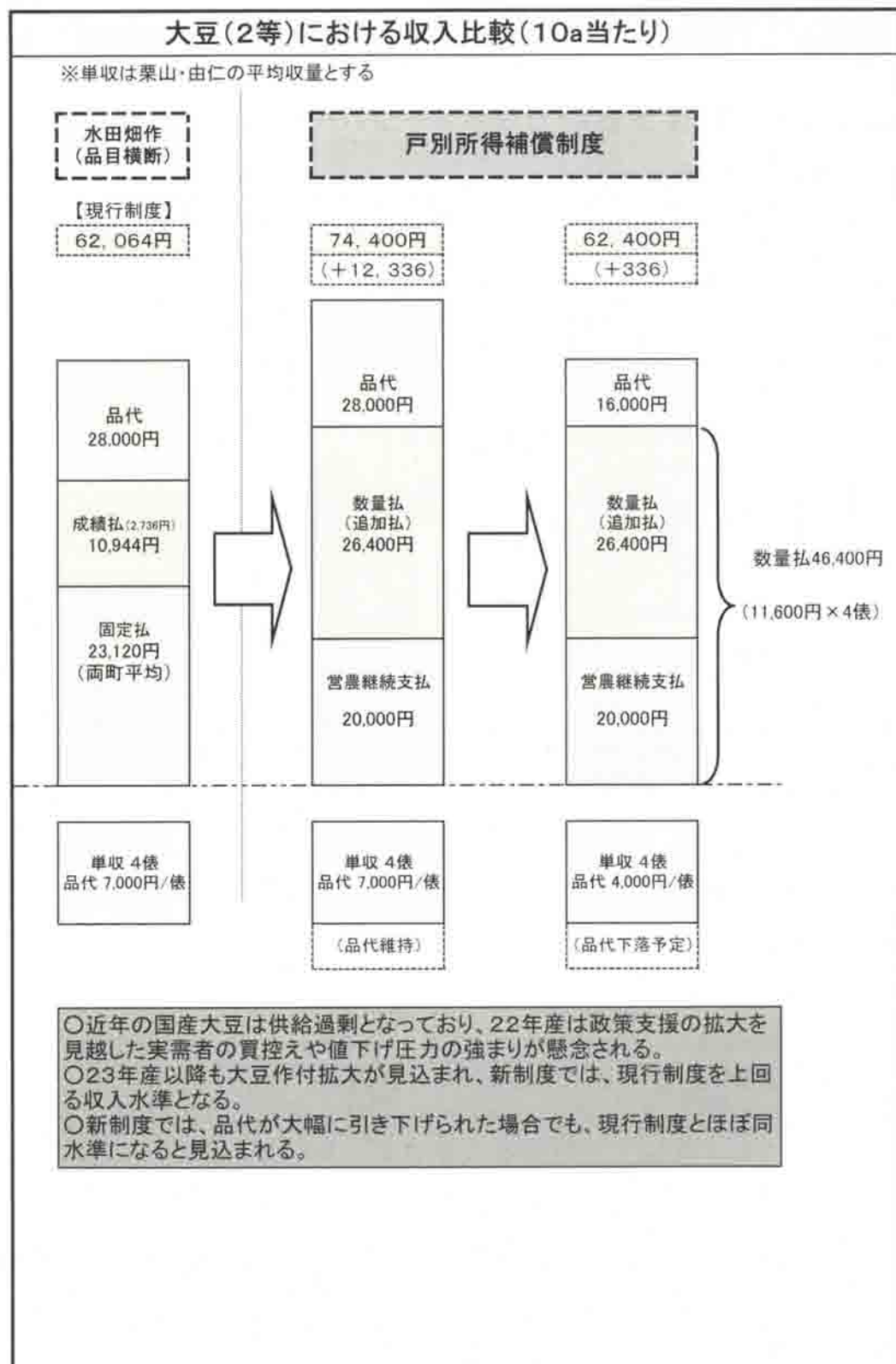
2. 営農継続支払 <「当年産の対象作物の作付面積」×「交付単価」>で交付額を算定する仕組み>

(交付単価) 2万円/10a (4作物共通)

※一定の要件: 営農継続支払の交付を受けるには
農業共済への加入が要件となります。

☆数量払と営農継続支払のいずれか高い額が交付されます。

所得補償制度（大豆試算）



平成23年度農業者戸別

大豆

畑作物戸別所得補償制度支払い方法イメージ(大豆)

(例)大豆(2等)の収量を4俵/10aとすると、

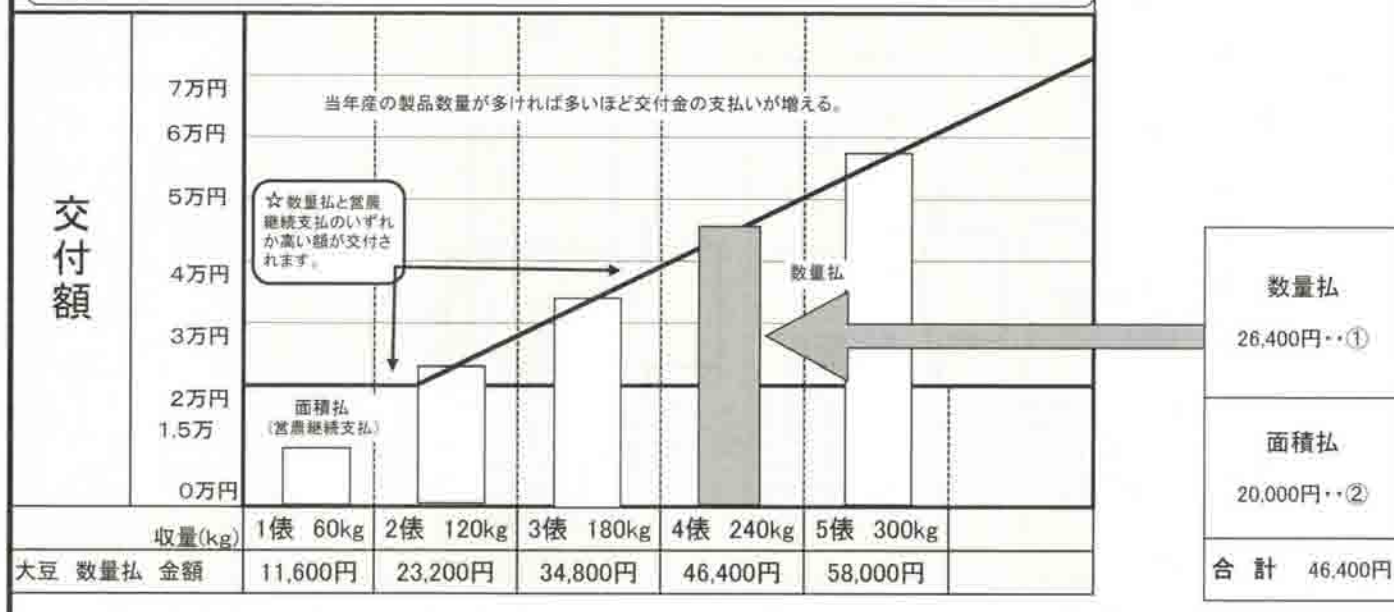
数量払: 4俵 × 11,600円 = 46,400円 - 20,000円(面積払相殺分) = 26,400円・・・①

面積払: 20,000円・・・②

金額合計: 26,400円 + 20,000円 = 46,400円

☆数量払と営農継続支払のいずれか高い額が交付されます。

※数量払の単価が60kg当たり11,600円とした場合、10a当たりの収量が103kg以下なら交付は面積払だけになる。



1. 数量払 <「当年産の出荷・販売数量」×「交付単価」>で交付額を算定する仕組み>

①品質加算を含めた数量払の交付単価

【大豆】 被害粒が少なく粒の揃ったものが高く取引されているため、これらを反映した検査成績ごとに加算。

品質区分(等級)	1等	2等	3等	(円/60kg)
一般大豆	12,290円	11,600円	10,920円	
特定加工用大豆	10,240円			

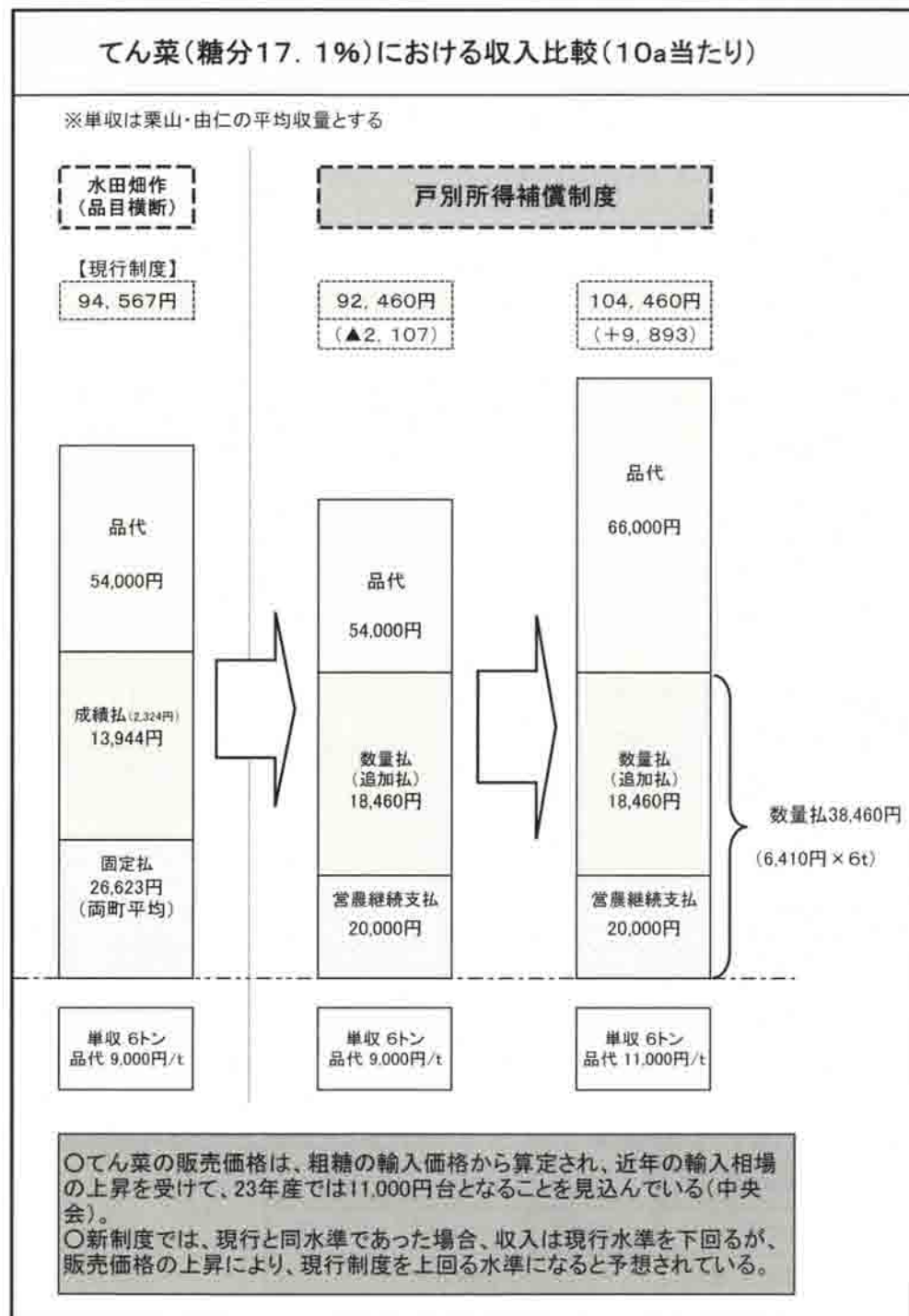
2. 営農継続支払 <「当年産の対象作物の作付面積」×「交付単価」で交付額を算定する仕組み>

(交付単価) 2万円/10a (4作物共通)

※一定の要件: 営農継続支払の交付を受けるには
農業共済への加入が要件となります。

☆数量払と営農継続支払のいずれか高い額が交付されます。

所得補償制度（てん菜試算）



平成23年度農業者戸別

てん菜

畑作物戸別所得補償制度支払い方法イメージ(てん菜)

(例)てん菜(糖分17.1%)の収量が6t/10aとすると、

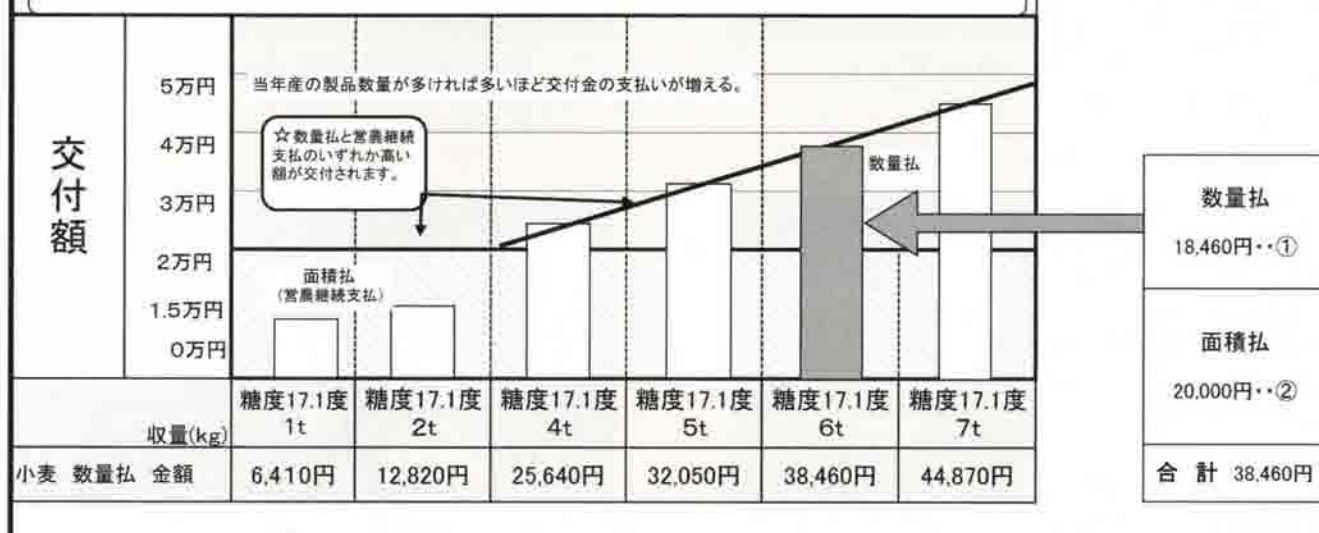
数量払: $6t \times 6,410円 = 38,460円 - 20,000円(面積払相殺分) = 18,460円 \cdots ①$

面積払: 20,000円 $\cdots ②$

金額合計: ①18,460円 + ②20,000円 = 38,460円

☆数量払と営農継続支払のいずれか高い額が交付されます。

※数量払の単価が60kg当たり6,410円とした場合、10a当たりの収量が3,120kg以下なら交付は面積払だけになる。



1. 数量払 <「当年産の出荷・販売数量」×「交付単価」>で交付額を算定する仕組み>

①品質加算を含めた数量払の交付単価

【てん菜】

糖度が高いものほど高く取引されているため、糖度に対応して加算

品質区分 (糖度)	← (0.1度ごと)	17.1度	(0.1度ごと) →	(円/トン)
てん菜	▲62	6,410円	+62	

2. 営農継続支払 <「当年産の対象作物の作付面積」×「交付単価」>で交付額を算定する仕組み>

(交付単価) 2万円/10a (4作物共通)

※一定の要件: 営農継続支払の交付を受けるには

農業共済への加入が要件となります。

☆数量払と営農継続支払のいずれか高い額が交付されます。

各地区の作業風景



由仁地区中三川 山内 勝人さん
9月27日、小麦は種



由仁地区東三川 山口 隆一さん
10月9日、ビート収穫



栗山地区緑丘 中井 修一さん
10月22日、ビート収穫



栗山地区鳩山 ファーム青木
10月20日、大豆収穫



パン、トマトジュース、ピーマン、ほうれん草
を販売したJAそらち南の販売ブース

10月16日、栗山産の農産物・加工品を地元の人達にもっと知ってもらおうと企画された栗山青年会議所主催の「くりやまマルシェ」が栗山公園で開催されました。

当JA販売部、JA青年部、栗山町4Hクラブなど数多くの出店ブースに栗山町内外から大勢の皆様が詰めかけ、特にJA青年部と4Hクラブによる玉ねぎと馬鈴しょの詰め放題では、大勢のお客様がコンテナを積んだ軽トラックの周りを囲み、袋いっぱい詰め込んでいました。

くりやまマルシェに参加

地場産野菜が大好評

～税務署からのお知らせ～

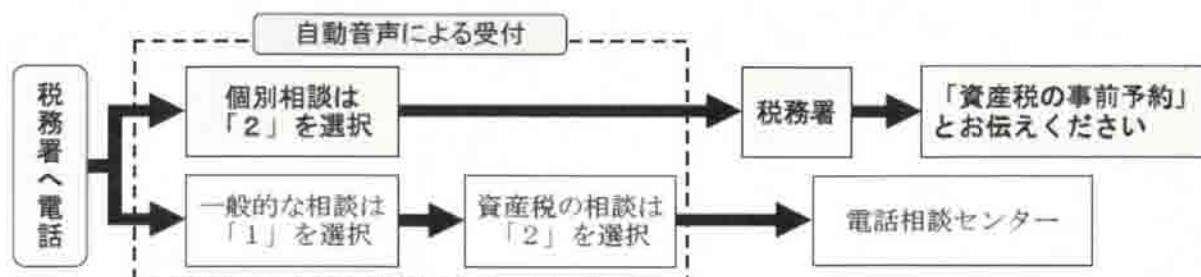
譲渡所得の個別相談 相続税について 贈与税

資産税（譲渡所得、相続税、贈与税）の個別相談については、相談日を設けてお受けしております。

- ・平成22年11月5日（金）・平成22年11月19日（金）
- ・平成22年12月3日（金）・平成22年12月17日（金）

ご相談に際しましては、事前に電話でご予約をお願いします。

【予約の方法】



岩見沢税務署

（代表 0126-22-0810）

キッチン え!?

ここだけ
替えられるの?

天板を交換するだけで
**よみがえる
キッチン**

1日で完了＆低価格＆人造大理石

天板巾 2400mm **189,000円**から

住まいの「困った」解決します

**JA秋の
ワンデー
1dayリフォーム**

1日でできちゃうリフォームが集合しました。
すっきりピカピカでお正月を迎えましょう!

住宅版エコポイント対象リフォーム

内窓設置 窓の室内側に樹脂サッシを取付けます

・暖房費が節約できます
・結露を軽減します
・防音効果があります



巾1,800×高さ1,200
56,700円
(12,000ポイント)

巾1,800×高さ1,800
76,650円
(18,000ポイント)

巾2,700×高さ1,800
105,000円
(18,000ポイント)

※表示価格には運搬費、諸経費等が含まれておりません。

トイレパック

TOTO
ウォッシュレット一体型トイレ
ZC1(CES9032947*)



多彩な機能が標準装備
・オート便器洗浄・暖房便座
・オートパワー脱臭・節水・静音
・リモコン・旋回流洗浄 ほか

オープン価格

189,000円

■壁・天井ビニールクロス貼替
■床クッションフロア貼替
■ペーパーホルダー■タオル掛け■照明器具

各種工事承ります

屋根・外壁塗装
随時見積受け付けております

※防カビ、汚れ防止効果など多数あります
クロス 壁・天井
1㎡あたり
材工共 **1,890円**

クッションフロア
1㎡あたり
材工共 **2,940円**

木質フロア(戸建用)
1㎡あたり **7,800円**
既存床撤去・下地補修別途

ボイラー **NORITZ**
壁掛石油給湯器

省エネ型 給湯専用 電気式
OQB-G4702WFF
小売価格 231,000円



※標準価格 **136,500円**
■工事費は別途かかります

シャンプードレッサー



パナソニック電工AWE
MXシリーズ
バリック蛍光灯
一面鏡 間口750



小売価格 132,090円

※標準価格 **36,750円**
■工事費は別途かかります

温水洗浄便座

東芝
クリーンウォッシュ
SCS-T160

簡単操作の温水洗浄便座
節電タイプ

オープン価格 **110,000円**

25,900円

■取付費は別途かかります

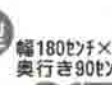
玄関風除室工事 暖房効果が大幅アップ! 1日の施工でOKです。

I型



幅180センチ×高さ270センチ
103,200円〜

II型



幅180センチ×
奥行き90センチ×高さ270センチ
217,200円〜



L型



幅180センチ×
奥行き90センチ×高さ270センチ
159,600円〜

【価格に含まれていないもの】

- 1.ハンガー5連(レールなし)の場合
→ 4.2万円UP
- 2.バーハンドルをお選びいただいた場合
→ 2.2万円UP(2カ所)
- 3.窓(アミ戸付=900)を取り付けた場合
→ 1組につき1.8万円UP

玄関ドア

断熱リフォームドア



1年を通じて適度な室温を保つ最高ランクの断熱性能

トステム リシエント
4.5尺片袖リランマ・ポスト付
ディンプルキー仕様
288,000円〜

※表示価格には全て消費税が含まれております。

安心・信頼・実績の 早くて安価の
増改築 修繕



JAそらち南

継立店

TEL(0123)75-2226

A・COOP 由仁店

TEL(0123)83-2323

第10回理事会報告

日時 平成22年10月20日(水)
午後2時より第10回理事会が開催され、原案通り承認されました。

【報告事項】

経済委員会報告
農家経済対策委員会報告
農業委員会報告
農政対策
各部報告

【審議事項】

議案第1号 農協懇談会の開催について
議案第2号 建物賃貸借契約の締結について
議案第3号 役員視察研修の実施について
議案第4号 大口先に対する資金の貸付について
議案第5号 青年部海外農業視察研修について
議案第6号 平成22年度賦課金の徴収について
議案第7号 平成22年度農産物仮渡金及び米穀経済対策金の支給について

11月の行事

12日 花き消流懇談会(予定)
22日 第11回理事会(予定)
24日 北海道切花品評会表彰
26日 青年部関係機関交流会(予定)
29日 農協地区別懇談会(予定)



11月の売り出し予定 Aコープ

12~13日...Aコープ旬鮮情報
16~17日...Aコープ全力祭
19~20日...Aコープお客様感謝祭
23~24日...Aコープ88円均一
26~27日...Aコープ週末お買得市
30日...Aコープ得の市



A-COOP 由仁店・三川店
○三川店...毎週日曜日休み

JA共済からのお知らせ

事故件数

9月
自動車...33件
火災...0件
火傷...5件
累計(2~9月)
自動車...246件
火災...1件
火傷...18件

組合員の動き

▽正組合員戸数
▽正組合員数
▽正組合員数
うち法人
うち団体
うち個人
★おくやみ申し上げます。
(9月30日現在)

田村	竹内	辻谷	川端	菅野	瀧野	亡くなった方
義久	心み	栄治	とみ	昇	春雄	年令
83才	95才	76才	89才	87才	81才	住所
栗山町南学田	栗山町御園	由仁町本三川	由仁町東三川	栗山町湯地	栗山町湯地	

編集後記

寒さが日増しに厳しくなり、確実に秋から冬に変わっていくのが実感できるようになり、この編集後記を書いている時点の天気予報でも、間もなく初雪が降ると出ています。昨年は11月上旬に初雪が降ったものの、根雪になるまで時間がかりましたが、今年はどうなるのでしょうか。話は変わって、昨年度極端な品薄で数週間販売を終了した道産米の期待の新品種「ゆめぴりか」。今年はより多くの人が口にすることで初めて本当の評価が決まる筈です。「おぼろつき」より食味が優れていると言われている、道内より道外の消費者の方により受け入れられるのではないかと、思われますが、果たしてどうなるのか非常に楽しみです。



そらち南 くみあいだより

2010 11月号 Vol. 22

発行 2010. 11. 10(毎月1回)

〒069-1511 夕張郡栗山町中央3丁目104番地
発行/そらち南農業協同組合 管理部企画審査課
TEL/0123-72-1313 FAX/0123-72-3364
HPアドレス <http://www.ja-sorachiminami.or.jp>
メールアドレス info@ja-sorachiminami.or.jp
印刷/山東印刷